



【プレスリリース】

2022 年 3 月 15 日

報道関係各位

スマート TV がもっと身近に 直下型フルハイビジョン搭載の 32 インチ液晶テレビ 「32LX7000PJB」を 3 月下旬より順次発売

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、直下型フルハイビジョン搭載の 32 インチ液晶テレビ「32LX7000PJB」を 2022 年 3 月下旬より、順次発売します。

「32LX7000PJB」は、32 インチの設置しやすいサイズ感で、フルハイビジョンをありのまま表示できるフル HD(1920×1080)パネルを搭載し、映像本来の魅力を引き出す液晶テレビです。

ご家族みんなで楽しめるさまざまな機能を搭載しており、地上波放送はもちろん、LG 独自 OS の最新バージョン「webOS 22」を搭載することで、さまざまな VOD コンテンツに対応し、見たい作品にいつでも気軽にアクセスできます。小さなお子様も安心して視聴できるよう、視聴時間や音量の制限を行うことができ、ブルーライトを抑える機能や、周囲の明るさに応じて自動的に明るさを調整することで視覚をケアする機能など、さまざまな機能の選択ができます。

また独自の AI 機能を搭載した第 5 世代のエンジン「α 5 Gen5 AI Processor」が、画質だけでなく、音質も豊かにします。AI が再生中の映像コンテンツを分析し、映像のジャンルに合わせて自動的に音質をチューニングする「AI サウンド」では、効果音や音楽が大きくて聞き取りづらい登場人物の会話も AI の分析によって、明瞭に聞き取りやすくします。

在宅時間が増えた昨今、テレビは世界中のエンターテインメントと繋がることのできるデバイスとして、新たな進化を遂げています。当社は、従来のテレビの常識を塗り替えるラインアップの数々を日本の皆様にお届けしてまいります。



< 発売概要 >

モデル名(型番)	発売時期	価格(※予想実売価格・税込)
32LX7000PJB	2022 年 3 月下旬	オープン価格(43,000 円前後)

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

<https://www.lg.com/jp>

■主な特長

【テレビはあなたに寄り添うパートナーへ】

LG 独自のプラットフォーム「webOS」によって、あなたのテレビライフがもっと豊かに。家族みんなでの時間も、プライベートタイムを楽しみたい人にも。

きっと自分だけの時間が豊かになる

LG 独自のプラットフォーム「webOS」の最新バージョン「webOS 22」を搭載。

さまざまな VOD コンテンツに対応し、見たい作品にいつでも気軽にアクセスできます。

やりたいことがすぐに

独自の AI 機能を搭載した第 5 世代のエンジン「α 5 Gen5 AI Processor」によって、テレビがあなたのパートナーに。リモコンに話しかける※だけで電源のオン/オフ、音量を調整。またウェブ検索はもちろん、登録アカウントの視聴傾向に沿った関連コンテンツの提案を行います。

※2022 年発売予定の最新マジックリモコン(別売)が必要です。

家族みんなが安心して見られる

ファミリーケア設定は小さなお子様も安心して見られるように視聴時間や音量の制限が行えます。さらにブルーライトを抑えたり、周囲の明るさに応じて自動的に明るさを調整することで視覚をケアします。

【映像をもっと楽しく】

独自の AI 機能を搭載した第 5 世代のエンジン「α 5 Gen5 AI Processor」が画質、音質をもっと豊かに。

32 インチで高画質な映像を

フルハイビジョンをありのまま表示できるフル HD(1920×1080)パネルを搭載し、映像本来の魅力を楽しめます。また、アップスケーリング機能によって低解像度の映像もフル HD の高画質で表示します。



ダイナミックな映像体験を

近年、ブルーレイソフトや VOD でも増えつつある HDR(High Dynamic Range)に対応。明るい部分をより明るく、暗い部分をより深い黒で再現し、従来の SDR 映像では色の識別が困難であったキメの細やかな表現もしっかりと描写することができます。またダイナミックトーンマッピングを強化し、フレームごとに HDR 信号を処理する「HDR10 Pro」はもちろん、主に衛星放送等で用いられる「HLG」、ゲームにおける HDR の統一規格「HGiG」をサポート。さまざまな HDR 対応コンテンツに適した映像で見ることができます。

ジャンルに合ったサウンドで

AI が再生中の映像コンテンツを分析し、映像のジャンルに合わせて自動的に音質をチューニングします。また、効果音や音楽が大きくて聞き取りづらい登場人物の会話も AI の分析によって、明瞭に聞き取りやすくなります。

2ch の音声も立体的な音響に

L/R のステレオサウンドも AI が 5.1ch の立体的な音響に変換。対応する外部スピーカーに接続すれば、臨場感あふれる音響を提供します。

【ゲームプレイも楽しく】

NVIDIA® GeForce NOW™ に対応(現在はベータ版公開中)。

「GeForce NOW」は Cloud 上で遊べるゲームサービスで、ゲームのハードウェアを用意しなくても、テレビと互換性のあるコントローラーがあれば、35 種類以上のゲームを無料でプレイすることができます。





※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周 (ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 4 事業を展開
【ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション】
洗濯機、衣類リフレッシュ機等
【ホーム・エンターテインメント】
テレビ、ブルーレイプレイヤー等
【ビジネス・ソリューションズ】
モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、デジタルサイネージ、ソーラー事業等
【ビークルコンポーネント・ソリューションズ】
車載用機器等

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、約 75,000 人以上の従業員を擁しています。

2020 年の世界売上高は約 560 億ドルで、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ホーム・エンターテインメント」、「ビークルコンポーネント・ソリューションズ」、「ビジネス・ソリューションズ」の 4 事業を展開。テレビ、生活家電、エアコン、モニター、サービスロボット、車載用機器などを製造する世界有数の総合家電ブランドです。また、IoT 家電として様々な家電同士を連携させることで、Life's Goods な毎日を提案し続けています。詳しくは、www.lg.com をご覧ください。

報道関係者様のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社
広報担当: 阿部 Email: pr.jp@lge.com